

親子で楽しみながら「県議会」を体験



令和6年7月27日に開かれた親子県議会教室には、
小学校5・6年生の児童と保護者12組24名が参加しました。
クイズで県議会の役割や県議会議員の仕事を学んだり、
議事堂を探検して実際に議員席に座ってみたり、親子で楽しく県議会を体験しました。



参加者の感想

高橋 叶望さん (八幡平市立寄木小学校6年)
特に印象に残ったことは、議員さんと名刺交換をしたことです。クイズでは、「大リーグの大谷選手と同じ母校で甲子園に出場した議員がいる。○か×か。」という問題もあって、県議会を身近に感じることができました。

保護者の高橋 潤さん
私自身が興味を持って、参加しようと誘いました。今回の親子県議会教室で、リーダーシップや協力し合うところなどを意識し、将来的な社会参加を含めて、何かのきっかけになればと願っています。

佐々木 蘭さん (北上市立黒沢尻東小学校5年)
議事堂に入った時は最初とても緊張しましたが、後からうれしい気分になりました。県民の代表が話し合っているところがすごいなと勉強になりました。将来は県議会議員になりたいと思っています。

保護者の千葉 清人さん
孫にとって議員さんはスターのような存在です。こうした取り組みに参加するのは初めてですが、議員さんに興味を持つことが、政治への興味につながると思います。

12月臨時会のあらまし

12月臨時会は、12月23日に開催されました(会期は1日)。知事から提出された令和6年度岩手県一般会計補正予算など、7件の議案は全て可決されました。

議決の状況

★議員別の賛否の状況は県議会ホームページでご覧になれます。

- ◎令和6年度補正予算【可決】
一般会計1件
- ◎その他の議案【可決】
農業関係の建設事業に要する経費の一部を負担させることに関する議決の変更に関し議決を求めることについてなど6件



12月定例会のあらまし

12月定例会は、11月26日から12月9日まで開催されました。知事から提出された令和6年度岩手県一般会計補正予算など、30件の議案は全て可決・同意され、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書など9件の議案は全て可決されました。また、請願は4件が採択、1件が一部採択、1件が不採択、2件が継続審査となりました。



議決の状況

★議員別の賛否の状況は県議会ホームページでご覧になれます。

- 知事提出議案
 - ◎令和6年度補正予算【可決】
一般会計2件、特別会計4件、企業会計1件
 - ◎条例議案【可決】
岩手県手数料条例の一部を改正する条例など11件
 - ◎その他の議案【可決】
防災行政情報通信ネットワーク次世代化工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについてなど11件
- ◎人事議案【同意】
取用委員会の委員及び予備委員の任命に関し同意を求めることについて
- 委員会提出議案【可決】
「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書など意見書9件(詳細は2ページに記載)

あなたとつくる いわての県議会

☆ いわて県議会だより

IWATE PREFECTURAL ASSEMBLY

令和6年12月定例会
第193号

「いわて県議会だより」は各市町村を通じて県内全世帯にお配りしています。点字版・テーパー・デージー版も用意していますので、ご希望の方は、県議会事務局までお問い合わせください。

音声データ掲載のご案内
「いわて県議会だより」の音声データを県議会ホームページに掲載しています。第193号のデータは、2月中旬頃に掲載する予定です。

<https://www.pref.iwate.jp/gikai/koho/dayori/1057389/index.html>

ホームページのご案内
議会の概要、議員名簿、本会議の会議録、本会議のインターネット中継、傍聴や請願・陳情の手続等をご覧いただけます。
<https://www.pref.iwate.jp/gikai/index.html>

編集・発行・問い合わせ先 **岩手県議会事務局**
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
電話 (019)629-6021・6022
FAX (019)629-6014
E-mail gikai@pref.iwate.jp 岩手県庁の隣です



委員会が提出した議案

★意見書の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

今定例会では意見書9件が可決されました。可決された意見書は、県議会から、内閣総理大臣をはじめ国会や国の関係機関などに提出し、その実現を図るよう強く要望しました。

◎意見書

- ▶「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書
- ▶私学助成制度の充実を求める意見書
- ▶火山防災対策の充実強化を求める意見書
- ▶特別支援教育に係る環境整備への支援を求める意見書
- ▶防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進を求める意見書
- ▶災害発生時における信頼性の高い情報提供体制の構築を求める意見書
- ▶生殖補助医療の理解促進及び利用しやすい環境整備を求める意見書
- ▶空家等対策の更なる充実を求める意見書
- ▶三陸復興国立公園の環境整備を求める意見書

県政に関する質問から

12月2日から4日まで行われた一般質問では、9名の議員が質問に立ちました。その中から、それぞれ1項目を取り上げ、議員の質問と知事または関係部局長等の答弁の要旨を紹介します。

12/2月 一般質問

各質問者の録画映像は二次元バーコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。※視聴環境は Wi-Fi および各キャリアの高速回線サービスを推奨します。

1人目 自由民主党
じょうない よしひこ
城内 愛彦 議員
◆宮古選挙区




各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

2人目 いわて県民クラブ・無所属の会
むらかみ こういち
村上 貢一 議員
◆盛岡選挙区




各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

3人目 希望いわて
いつ かいち おう
五日市 王 議員
◆二戸選挙区




各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

県営建設工事の入札制度

問 令和6年2月定例会の一般質問で、地域企業の受注機会の確保や積算を含めた技術力を高められる入札制度や仕組みづくりなどについて取り上げた。県は、入札動向や業界団体の意見、他県の動向等を踏まえ、適切に対応していくとの答弁であった。

公共事業が減少している中、施工実績の有無が受注機会の確保に大きく影響している。県営建設工事の総合評価落札方式について、業界団体からどのような意見が出されているか、現行制度の課題と認識、見直しに向けた検討状況等、県の対応について伺う。

答 県では、業界団体との地域懇談会を開催しており、復旧・復興事業の完了など工事発注件数の減少に伴う受注機会の減少により実績づくりが困難となる企業があることや、実績のある企業に落札が固定化されることなどの意見が寄せられている。県としても、総合評価落札方式では、施工実績の有無により受注機会を確保できない企業の増加が見込まれることが課題であると認識している。

こうした課題や業界団体からの意見を踏まえ、施工実績評価を緩和する方式で総合評価落札方式を見直すこととしており、工事成績評価の評価対象期間を現行の過去5年から10年に延長するなどのほか、施工実績の有無が評価に影響を及ぼす評価項目を極力除外する入札方式を新たに導入し、令和7年度からの試行に向けて準備を進めている。今後も業界団体の御意見を伺いながら、適切な入札制度の運用に努めていく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 サケ・マス類の海面養殖の展望
- 2 水産物生産・加工・流通の一体化
- 3 県立病院の経営改善
- 4 最低賃金の引き上げに伴う支援策 ほか

再生可能エネルギーの導入促進

問 本県は、風力や地熱といった地域資源の賦存量に恵まれており、これらを活用した再生可能エネルギーの導入を積極的に進め、市町村や事業者等への支援などを図っていくべきである。

第2次岩手県地球温暖化対策実行計画に掲げる2030年度の再生可能エネルギーによる電力自給率66%に向けての進捗状況と課題、今後の取り組みについて伺う。

答 令和5年度の再生可能エネルギーによる電力自給率は、新たな風力発電や地熱発電施設等の稼働により、前年度から4.7ポイント上昇し、45.7%となった。確実な目標達成に向けて、風力や地熱、太陽光、バイオマスなど、地域の特性を生かした再生可能エネルギーの導入促進に取り組んでいく必要がある。

特に地熱は、推定利用可能量が全国2位と高いポテンシャルを有し、発電の安定性においても優れているものの、地熱蒸気の効率的かつ確実な掘削や多額の開発費用等が課題となっている。地表調査や掘削調査への支援の拡充などを検討しながら地熱発電導入量の拡大を目指している国の動きのほか、技術開発や開発事業者の動向なども注視しながら、市町村と連携して導入促進を図っていく。

風力発電や太陽光発電の導入には、適正立地による環境との調和が重要と認識しており、市町村と再エネ促進区域の設定に向けた意見交換等を進める。再生可能エネルギーのさらなる導入が図られるよう、引き続き取り組んでいく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 人口減少対策への取り組み
- 2 学校給食無償化
- 3 金色の風の生産戦略・販売戦略
- 4 犯罪被害者支援 ほか

経済対策補正予算の基本的な考え

問 予算編成で、最も強く求めるものの一つは、企業の賃上げ環境の整備である。

岩手県の最低賃金は10月から59円上がり、952円になった。労働者側には朗報であるが、会社側には大変厳しいものである。人口減少や景気低迷で企業の業績が伸び悩む中、物価高騰による経費増加に加え、この最低賃金への対応は死活問題となっており、特に県北沿岸の企業はこの対応に苦慮している。

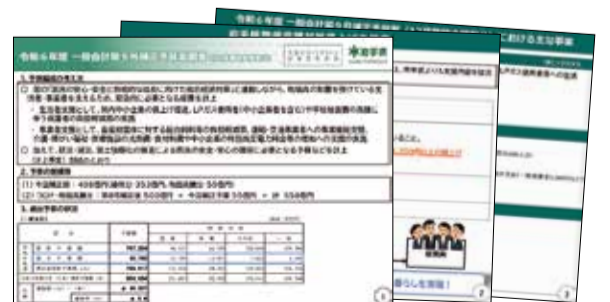
このままでは事業継続が厳しいという声が強まる中、しっかり行政が支援していく必要がある。全国に先駆けて実施した賃上げ補助金を基本に、幅広に対応する補助金の継続は不可欠である。

賃上げ補助金の補正予算への計上も含め、補正予算編成に当たっての基本的な考えを伺う。

答 今なお続く物価高の影響を受け、困難な状況に置かれている生活者・事業者を支えるため、賃上げ支援をはじめとする必要な対策を、できるだけ速やかに講じることが重要であり、県としても既に具体的な事業の検討に着手している。

賃上げ支援については、現下の最大の課題であると捉えており、これまでの支援策からさらに踏み込んだ支援として、単価の見直し等も念頭に制度の検討を進めている。

補正予算案は、年内をめどに提案できるように準備を進めており、賃上げ支援対策の拡充に加え、LPガス使用者の負担軽減策や畜産経営体に対する負担軽減策などを盛り込み、県民に寄り添いながら喫緊の課題に臨機に対応していく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 県北の農業振興
- 2 消防団の処遇改善
- 3 家畜伝染病
- 4 地域医療 ほか

請願の採択状況

★採択された請願の本文は県議会ホームページでご覧になれます。
★請願の件名は請願書のとおり記載しています。

- ◎採択(意見書を発議し、関係機関に要望することとして採択)
 - ▶「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書の提出を求める請願
 - ▶私学助成の充実強化等に関する請願
 - ▶私学助成を拡充させ、教育費負担の公私間格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

- ◎採択
 - ▶岩手県における困難を抱える妊産婦に対する支援の充実・強化を求める請願
- ◎一部採択
 - ▶医療機関の事業と経営維持のための診療報酬の再改定、補助金等の財政支援措置を求める請願

- ◎不採択
 - ▶家族従業者の人権保障と女性の自立促進の支障となっている所得税法第56条廃止を求める請願
- ◎継続審査
 - ▶盛岡一高バレーボール部に関わる調査検証委員会設置についての請願
 - ▶ゲノム編集食品の表示義務化を求める意見書提出の請願

用語解説

地域医療構想調整会議 (菅野 ひろのり 議員…… 3 ページ)

構想区域ごとに、将来の病床数の必要量を達成するための方策や、地域医療構想の達成を推進するために必要な事項について、学識経験者の団体等の関係者と協議を行う場であり、都道府県が設置する。構想区域ごとに名称は異なり、胆江圏域地域医療連携会議もその中の一つ。

オーガニックビレッジ (木村 幸弘 議員…… 4 ページ)

有機農業の拡大に向けて、農業者、事業者、地域内外の住民などの関係者が参画し、生産から消費まで一貫した地域ぐるみの取り組みを進める市町村のこと。

12/3(火) 一般質問

1人目 希望いわて
なすかわしん
名須川 晋 議員
◆花巻選挙区



各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

2人目 自由民主党
ゆきひろ
はぎの 幸弘 議員
◆遠野選挙区



各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

3人目 希望いわて
かんの
菅野 ひろのり 議員
◆奥州選挙区



各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

スポーツ・文化分野のグローバル人材育成

問 ビフォー雄星アフター雄星、2009年の春のセンバツ大会準優勝を起点に岩手の青少年たちの意識は大きく変化し、岩手から世界で目覚ましい活躍を遂げる綺羅星のごとき若手逸材を輩出するようになり、県民に夢と希望を与え続けている。

環境を整備し、正しい指導方法のもと、個の素質を伸ばしていくことで、岩手県はまだまだ世界に羽ばたくグローバル人材の育成ができると確信している。若者への知事の期待や思い、政策への反映についての考えを伺う。

答 本県出身のアスリートや文化人が、さまざまな競技・分野で世界を舞台にした素晴らしい活躍を見せ、多くの県民に感動と勇気を届け、県民に活力をもたらしている。

県では、国内外の競技会で活躍するアスリートの輩出に向けた競技力向上、一流の文化芸術に触れる機会の提供や意欲的な創作活動等の支援をいわて県民計画(2019~2028)に掲げている。

スポーツ分野においては、いわてスーパーキッズ発掘・育成事業を実施し、国際的に活躍するトップアスリートの育成を進めている。文化分野においては、世界的に活躍する一流の芸術家による公演の鑑賞や学校等への芸術家の派遣などにより、国内外から評価される人材が育まれる環境づくりに取り組んでいる。

今後も映像分析などDXを活用した新しい指導方法の提供など、世界レベルを体感できる環境の確保を図りながら、スポーツや文化芸術の分野において世界で活躍する人材の育成を進めていく。



- 上記のほかに、下記についても質問をしています。
- 1 成年後見制度、任意後見制度の普及・活用状況
 - 2 死亡・相続ワンストップサービス(おくやみ窓口)推進の支援
 - 3 第2期復興・創生期間後の共助社会の担い手への支援
 - 4 中小企業の生成AI導入支援等 ほか

子ども・子育て支援策

問 知事は、前回の選挙時のマニフェストにおいて、全国トップクラスの子育て支援策を1番目に据えて当選したが、トップクラスの支援策によっても、合計特殊出生率が1.16と減少した事実を象徴されるように、自然減に歯止めがかからない現状をどのように分析されているのか伺う。

また、マニフェストでは、必要な財源を確保し、市町村の現状把握にも努め、施策のフル稼働と一層の拡充を図ることとしているが、自然減の分析を踏まえ、今後、子育て支援策をどう拡充していくのか併せて伺う。

答 本県の出生数減少の要因に、女性人口そのものの減少、有配偶率及び有配偶出生率の低下があげられ、出会いや結婚を取り巻く環境や仕事と子育ての両立の難しさなどが影響していると考えている。

県では、第2子以降の保育料無償化や在宅育児支援金に加え、市町村が実施する既存施設等を活用した遊び場の整備、産後ケア利用時の子どもの一時預かりや交通費の支援に要する経費の補助などに取り組んでいる。地域事情に応じた少子化対策に取り組めるよう、小規模町村を対象とした伴走型支援も併せて進める中で、出生数の向上には、社会減対策との連動も重要であると改めて認識されてきた。

このことから、子育て支援策に加え、結婚支援、若者のライフプラン形成支援、雇用労働環境の安定等の取り組みの強化などと合わせて、ライフステージに応じた支援の充実を図っていく。



- 上記のほかに、下記についても質問をしています。
- 1 高校教育の充実
 - 2 野生鳥獣対策の充実
 - 3 介護人材確保対策
 - 4 マイナ保険証の利用促進 ほか

奥州市新医療センターと地域医療構想

問 県全体で見れば、胆江圏域の医療は充実しているほうであると思っているが、課題もある。

県が主催する胆江圏域地域医療連携会議では、奥州市の新医療センター計画への疑問や反対の声とともに、県と市の協議を求める声が上がった。私は胆江地域における医療体制のあり方について、合意形成や共通認識が持たれていないのではないかと思う。

総務省は、公立病院の新設・建て替えに当たっては、都道府県に対して議論の開始時点から地域医療構想等を踏まえた病院の役割や機能別病床数、機能分化・連携強化の検討、収支見通し等について、地域医療構想との整合性の確認や、その他必要な助言を行うべきとしている。奥州市の新医療センターについて、どの時点で奥州市から県に対して申し入れがあったのか。県は、どのように整合性の確認を行い、助言しているのか伺う。

答 令和5年度は奥州市の新医療センター基本構想策定の時点で、また令和6年度は基本計画中間案策定の時点で、奥州市から相談があり、県の保健医療計画や地域医療構想で定めている病床数との整合性の確認を行った。

その際、新医療センターの地域医療における役割と機能や、地域の医療機関との連携について、県で運営している地域医療構想調整会議で話し合っていたかということや、持続可能な運営を行っていくための経営計画が必要であることから、収支の根拠などについても示す必要があるのではないかと意見交換を行ったところである。



- 上記のほかに、下記についても質問をしています。
- 1 中小企業支援
 - 2 家畜人工受精師
 - 3 農業大学校
 - 4 県職員の働き方改革 ほか

12/4(水) 一般質問

1人目 いわて新政治家
よしだ けいこ
吉田 敬子 議員
◆盛岡選挙区



各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



2人目 自由民主党
むらかみ ひでのり
村上 秀紀 議員
◆紫波選挙区



各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



3人目 社民党
きむら ゆきひろ
木村 幸弘 議員
◆花巻選挙区



各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



こどもの声の県政への反映

問 令和4年6月に成立したこども基本法は、第11条でこども施策策定時にこどもの意見反映にかかる措置を講ずるよう国や自治体に義務付けている。具体的な手法として、こどもを対象としたアンケートの実施、審議会・懇談会への参画、直接意見を聴く場の設置などが挙げられている。

令和6年2月定例会の代表質問で、知事は「子どもたちの声を生かす方策について検討し、子どもたちの意見の把握と県政への反映に取り組む」と答弁された。希望郷いわてモニターの年齢は18歳以上となっており、子どもがモニターに入っていない。検討を行った結果として、子どもの声をどのように県政に生かすことにしたのか伺う。

答 本県では、岩手県教育振興計画や岩手県子どもへの幸せ応援計画の策定に当たり、児童・生徒等対象のオンライン調査のほか、いわて希望塾やいわて若者カフェの場での子どもや若者との対話などに取り組んできた。

令和6年度は新たに、小学生や高校生との意見交換や、首都圏の大学に通う本県出身の学生を対象とした県政懇談会など、子どもや若者の声を知事が直接聴く機会を設けている。

子どもの声の反映については、施策の内容や目的に応じ、多様な手法を組み合わせながら実施していく必要があり、子ども・若者を対象としたアンケートや懇談で意見聴取するとともに、子ども向けのモニター制度を含めた新たな手法について検討するなど、次世代の社会を担う子どもたちの意見の把握と県政への反映に取り組んでいく。



- 上記のほかに、下記についても質問をしています。
- 1 グローバル人材の育成
 - 2 病気や障がいのある子どもや家庭への支援
 - 3 本を通じた居場所である図書館への支援
 - 4 県庁舎の建て替えと内丸プラン ほか

酒造りの文化と魅力の発信

問 本県の南部杜氏は、新潟県の越後杜氏、兵庫県の丹波杜氏とともに日本三大杜氏と呼ばれ、その中でも国内最大の杜氏集団であり、全国各地で活躍し、最近では海外に拠点を持つ方もいる。

「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録を契機とし、本県がイニシアチブを発揮し、首都圏で日本三大杜氏サミットを開催するなど、酒造りの文化や魅力を全国や世界にPRすることが、業界全体の知名度向上、販路拡大や清酒の消費拡大につながると考えるが、知事の所見を伺う。

答 カナダ、マレーシア、シンガポールへのトップセールスを通じて、世界の国々に日本食レストランが増え、日本酒に対する関心が高まっていると実感した。

「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録される見通しとなったことは、こうした流れに拍車をかけ、南部杜氏の酒造り文化と岩手県の日本酒を世界に発信して売り込む大きなチャンスであると考えている。

岩手県の清酒が地理的表示、いわゆるGIに指定されている強みを生かした取り組みの展開も必要であるほか、令和7年1月に予定しているニューヨークのトップセールスでは、岩手県酒造組合と連携したレセプションなどを行う。

ユネスコ無形文化遺産の本登録後に開催が見込まれる国による大規模な記念イベントや、全国知事会による海外国際見本市への出展などの取り組みと連動しながら、岩手県の酒造り文化と日本酒の魅力を広く世界に発信していきたい。



- 上記のほかに、下記についても質問をしています。
- 1 就職氷河期世代が活躍できる社会の実現
 - 2 商店街の再生
 - 3 農林業の振興
 - 4 星北高等学園に対する支援 ほか

有機農業の取り組み拡大

問 岩手県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画の内容は、有機農業の積極的な生産拡大などには不十分だと感じる。また、いわてのお米ブランド化生産・販売戦略ビジョンでも、有機農業の取り組み拡大に明確に取り組む姿勢が見えない。

県は、「**オーガニックビレッジ**」の取り組みは、本県の有機農業を推進する上で重要である」としており、市町村への支援だけでなく、主体的かつ積極的な取り組みや有機農産物の位置付けも含め、取り組み内容を強化し、オーガニック市場への展開を推し進めるべきだと思ふ見解を伺う。

答 県と市町村が共同で策定した岩手県環境負荷低減事業活動の促進に関する基本的な計画において、取り組み内容の柱に有機農業の推進を掲げており、有機農産物の栽培技術の指導や販路確保に向けた実需者との商談会の開催、市町村が行う有機農業の産地づくりの支援などに取り組んでいる。

また、県独自に、有機農産物等アドバイザーの派遣や、有機農業の実践事例を学ぶ栽培技術交流会の開催に加え、化学肥料や化学農薬に頼らない栽培技術の実証などを進めている。

今年度は、花巻市がオーガニックビレッジ宣言を行ったほか、県では、新たに「いわてグリーン農業アカデミー」を開講し、有機農業等の実践者の育成を進めている。

今後も、生産者や関係者と課題解決に向けた意見交換を丁寧に行いながら、有機農業の生産拡大に向けた取り組みを進めていく。



- 上記のほかに、下記についても質問をしています。
- 1 がん治療に対する経済的不安への対応
 - 2 医師の偏在対策
 - 3 賃金格差の改善
 - 4 オストメイトへの対策 ほか

県議会からのお知らせ

●県議会広報動画「ゼミの友達と県議会に行ってみた～県議会の役割～」
岩手県議会では、県議会について知っていただき、より身近に感じていただけるよう、リニューアルした広報動画を配信しています。
2人の大学生が議事堂を見学しながら、**県議会の仕組みや役割についてわかりやすく紹介**していますので、ぜひご覧ください！



●親子で傍聴しやすい環境づくりの取り組み
親子で傍聴される方が、授乳、おむつ替え等にご利用いただけるよう、新たに**ベビーベッドやパーティションなどを準備**しました。
詳細は、二次元バーコードから県議会ホームページにアクセスいただきご覧ください。



若者向け傍聴案内ポスターデザインコンテスト入賞作品の中から、12月定例会のポスターを作成しました。

ほりぐち あいり
岩手県立産業技術短期大学校 **堀口 愛梨** さん

多くの方々に県議会に興味を持ってもらうため、高校生をアニメ風の絵柄で描き、より親しみを持ってもらえるように意識してポスターを作成しました。また、県議会がどういった場所か想像しやすいように実際の本会議場の画像を取り入れました。

このポスターがたくさんの人々の目に留まり、県議会に興味を持ってもらえるきっかけの1つになれば非常に嬉しいです。

